力農
NO.64
編集兼発行人
福島県岩瀬郡鏡石町桜町207
佐久間辰一
印刷所
福島県須賀川市森宿字ヒジリ田50
トキワ印刷㈱
TEL0248－75－2145
発行所
岩瀬農業高等学校
同窓会
TEL0248－62－3145～6

百周年の御礼と期待

同窓会長　添田　増太郎

「時間がゆっくり来て、アッという間に、過去となり、歴史的事実となる」

岩農創立百周年を迎えるにあたり、平成十五年に記念会を設立、「人づくり」を主体とした諸事業を実施してまいりました。

募金活動をはじめ、諸事業にご協力ご指導を頂いた皆様に心から感謝と御礼を申し上げます。

皆様のご協力のお陰で滞りなく全事業が予定通り終了いたしました。

特に記念式典の挙行にあたりましては、生徒自ら運営にあたり厳粛盛大裡に終了致し、各界から流石岩農と沢山の称賛を頂きました。ありがとうございました。

振り返って思うに、同窓会員の母校を思う熱い心と、力農精神で鍛えられた人柄は素晴らしい活躍をされて居り、これも岩農に学んだお陰様と、沢山の皆様から感謝の言葉を頂きました。

卒業生が各界でそれぞれ信頼され、人として高く評価されて居るのは、力農精神の涵養の賜と存じます。

力農精神を、簡潔に申し上げれば「自然を愛し、誠実で忍耐強く、飾らない心」であると思います。

人間とは人の間と書きます。人と人の間は、信頼によって保たれ繋がって居ります。信頼があるから、安心し仲良く助け合い、愛し合って行けるので、信頼が無ければ人間社会は破壊致します。

人間社会で最も大事な、信頼ある人づくりこそが力農の精神なのです。

教育の目的は申すまでも無く、教育基本法にも記されて居る通り、人格の完成をめざし、平和で、文化的社会を形成する、人を教え育てることであります。即ち、豊かな知識と立派な人格を持った人の、誨育にあります。

岩農卒業生が広く社会から信頼ある人間として、評価されるのは、豊かな人間性であり力農の教えの賜と存じます。百周年にあたり教育のありがたさを実感させられました。

歴史は継続であります。教育の希望は遠いが次の歴史をつくるべく人づくりの一環として、凌雲大志の記念碑を建立いたしました。

掲げました雲を凌ぐような大きな志を持って、国際社会に逞しく生きる人づくりの為に、倚門の望み（倚門の望み／学問に学ぶ子供の帰りを親はいつも門にたたずみもたれてひたすら待つ心）を持った家族や同窓生の思いを記念碑に刻みました。

英国の哲学者ウイリアムアーサーの言葉を借りれば「偉大な教師は生徒の心に火をつけることだ」と言って居ります。高校教育は、様々な知識学問を教えることは勿論だが、自分の人生の生きる道を見付けること、見付けさせることが非常に大事であります。夢を与え、やる気を起こさせることが人生の分岐点に居る、高校生にとって最も重要な教育と存じます。

国際的感覚を持った、グローバルな夢多い生徒を沢山世に送り出すことこそ、次の百年の岩農の願望と存じます。

悠久岩農の未来に夢を託し百周年の符にかえさせて頂きます。